

2025年大阪・関西万博推進特別委員会 中間報告（案）

本特別委員会は、「2025年日本国際博覧会 大阪・関西万博 の成功に向けて、効果的な推進方策の調査研究を行う」ことを目的として、今年5月19日に設置され、これまで委員会を3回開会してきました。

まず、6月9日には、定例会中にもかかわらず委員会を開会し、万博の準備状況を含めた入場券制度に関し、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会の経営企画室室長、岩田 泰氏を参考人として委員会に出席を求め、意見を聴取し、その後質疑を行いました。

委員からは、入場券価格の決定過程や入場券の販売方法の確認のみならず、各種割引制度の提案や、大阪・関西万博のコンセプトである「未来社会の実験場」において体験できる具体的な内容、全国からの修学旅行誘致に向けた取り組み、国内外における機運醸成の取り組みなどについて、意見や要望などがありました。

その後、6月30日には、報道等で8千円とされていた会期中に販売される一日券の入場券価格について、より安価な7千5百円となったと博覧会協会から発表がありました。

9月8日には、万博の現状等について理事者から説明を聴取し、その後質疑を行い、委員からは、海外パビリオンの建設の進捗やその建設促進に向けた府市の取り組み、万博の機運醸成に関する取り組みなどについて、意見や要望などがありました。

また、万博の会場建設費の増額などの問題があり議会として11月10日に議員全員協議会が開かれたことは、皆さんご存じのとおりでございます。

そこで、本委員会でも昨日の12月11日に開き、理事者からの説明を聴取し質疑を行い、会場建設費に対する透明性を確保する上でも協会による執行状況の情報発信と府市における厳格な執行管理と公表の重要性が確認されました。

その後、委員間で討議を行い、その中で万博の機運醸成を高めることの重要性について確認されました。

また、これまで府議会として万博開催について、万博会場経費の上振れや万博に関する様々な情報の見える化など議会として様々な課題について議論されてきたことも踏まえ、万博の成功に向けて能動的に活動していくべきとしました。

今後の委員会の開催については、博覧会協会に直接、説明を聞くなど開催頻度を上げることにより、府民をはじめとする来場される皆様に喜んでいただける万博を実現すべく委員会を運営していくことが確認されました。

このように本委員会は、今後も地元大阪で開催される2025年日本国際博覧会大阪・関西万博の成功に向けて、必要に応じて委員会を開き、引き続き効果的な推進方策の調査研究を行ってまいりますことを申し上げ、「2025年大阪・関西万博推進特別委員会」の中間報告といたします。